

第 1回 (仮称)宮城スタッフ会議 議事録

日時	2020 年 5 月 27 日 13 時 00 分 ～ 16 時 00 分	場所	せんだい演劇工房 10-BOX box-2
議題	新型コロナウイルス感染症による事業継続の影響について、現状報告、確認並びに意見会		
会議内容	■ 本会を開催するに至った経緯説明 ■ 自己紹介 出席会員17名、他4名 ■ 現状報告 ○コンサート、ライブ関係の興業については、年内大きい公演(アリーナ等)はない予定。大ホールクラスもほぼ中止。 ○市町村主催のお祭り等催事が軒並み中止。密になるだけでなく、企業さんの協賛辞退等の影響も出ているようだ。 ○バレエや古典舞踊、カラオケ等の発表会も、各会の生徒さんの減少や練習不足のため中止。 ○企業主催の講演会、式典等も各社自粛の為、本年度分中止。 ■ 5/27発表の仙台市の事業及び施設等の取り扱いのガイドラインについて(資料3,4) ○人数等の確認。上限は、スタッフ、観客含めの人数であること。スタッフには、外部スタッフだけでなく、各会場の常勤スタッフも含む。 ○具体的な会場をあげ、観客動員数、舞台スタッフ人数等想定してみる。 ■ 緊急事態舞台芸術ネットワークについて説明(資料有り) ○演劇関係を中心に活動している団体。都内の大手企業、大手劇団が中心。 ■ J-LODliveについて(資料有り) ○2/1以降に予定していた公演を延期・中止した法人への支援。 ■ その他資料について説明(朝日新聞コピー) ○今後の国の支援等について。第2次補正予算案等について。 ■ その他意見等 ○国や県のガイドラインにのっとり、各大きさのホールやライブハウス等で、本会のスタッフが公演等を想定して、実際に動き等を検証をしてみるのはいかがでしょうか？興業で利益を上げるためには、利用するお客様と観に来場するお客様が重要である。安心して、ホールやライブハウスを利用していただくためには、実際に検証してみる必要があり、また、それを多くの皆様に周知していただくことで、利用が見込めるのではないかと。たくさんの興業を経験している私達だからこそ、実現できるのではないだろうか。 ■ 今後の会の継続、会の名前について ○会を継続存続させることは、本業を多くの方に知っていただき将来的に若手の雇用につながる。沢山の会社がある事を知る機会になる。 ○参加者に、会の継続について確認。全員一致で継続確認。 ○会の名前を暫定で「宮城スタッフ会議」とする ■ 次回開催について ○6/10の13時から、10-BOXにて。お借りする部屋は、参加人数で調整を行う。		

懸案事項	■現状報告 ○私達の職業は、2/26の安倍首相の「イベント自粛規制」により、公共施設の閉鎖、ホテル、ライブハウスへの営業自粛、県をまたいでの移動禁止等働く場所、機会が失われているが、休業要請を受けている職種ではない。根本的に理解されていない部分であり、休業要請を求めた職種よりも助成等を受けられない状況にある。→休業解除等で仕事が再開できる職種ではない。 ○県内、東北各県においても、同業者の数は非常に少なく、ほとんどが、小規模事業者、個人事業者（フリーランス含む）の構成となっている。 今の現状としては、公庫や金融機関からお金を借りても、返済能力等により、借りれる限度がある。年内が精一杯。→倒産もありうる。解雇等危惧。 ○倒産、廃業が続くと、コロナ終息の際に、技術者がいないため、どんなにイベントやコンサート、発表会を実施しようとしても、開催できない。 →仮に、大金を使い、関東方面からスタッフを要請しても、基本、コロナ以前から全国的に人員不足の為、開催不可。 →そもそも古典芸能においては、100年以上前から引き継がれている業がある。現状のままでは、失うことになる。 ■5/27発表の仙台市の事業及び施設等の取り扱いのガイドラインについて（資料3,4） ○会場の使用料等が高いため、収容率50%以内では、興業を行う意味がない。70～80% 収容できないと赤字になる。→公演中止 ○助成金等も一部の方には嬉しいが、会場費の値下げの方が、50%のガイドラインもクリアして、利用が増えるのではないかな。→仕事増 ○観客数を増やすために、ツアー公演の場合は、現地スタッフを削減しようとする制作会社が現れるのではないかな。→仕事なくなる ○客席の密については、話題になっているが、楽屋やステージ上は問題ないのか。→現状、大部屋等楽屋の収容人数に決まりなし。 ■緊急事態舞台芸術ネットワークについて説明 ○支援内容は理解できるが、都内の大企業が中心の支援策である。→地方にはこのような話すら事前情報がない →支援なし ○演劇関係が中心の支援策である。→参加加入には、月1万の会費が必要→とても余裕がない。従業員の雇用維持にまわしたい。 ○個人の加入ができない。フリーランス、個人事業主は対象外。 ■今後の会の継続、会の名前について ○会を継続させるためには、資金が必要。皆仕事がなく、参加者全員が売上90%近くDOWNである。 →「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業」に応募することを提案。
決定事項	■今後の会の継続、会の名前について ○（仮称）「宮城スタッフ会議」とする。次回、正式名を決定。 ○会の継続に伴い、今回声がけできなかった会社、フリーランスさんに連絡をとる。 ○「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業」に応募する。 ■次回の開催について ○6/10 13時～ 10-BOX
その他	○他の近い業種、イベンター、ライブハウス等へ情報収集が必要。 ○東北の他の県、新潟県、都内近郊の同業の会社や協会等の動きを確認。→今後の仕事の動きを随時確認。 ○県内の市町村の情報収集。 ○申請等に困っているフリーランス、個人事業主さんとの連携をとり、解決に導く。 ○自分達がモデルとなり、イベントやコンサート、ライブの開催に向け、どんなことができるか舞台のプロ目線で提供できる準備をする。